



日頃よりのご支援、ご高配に心より御礼申し上げます。

今回は、院長より新年のご挨拶、終夜睡眠ポリグラフ検査機器更新のご案内、医療連携課新入職員の紹介をいたします。

新年のご挨拶

2024年を迎え、新年のご挨拶を申し上げます。まず、年始に発生した能登半島地震により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。また、亡くなられた方々には深い哀悼の意を表します。

昨年は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に引き下げられ、様々な制限が緩和されました。当院もほぼ通常の診療が行える状況に戻りました。ご不便をおかけしましたが、ご協力ありがとうございました。今後も感染対策を徹底しつつ、患者様が安心して治療を受けられる環境を整えてまいります。

昨年は脳血管内治療専門医が2人体制となり、血栓回収療法、コイル塞栓術などの脳血管内治療件数も飛躍的に増加しました。さらなる急性期治療の充実を図っていきたいと考えています。また、回復期病棟の在宅復帰率も高い水準を維持しております。高い在宅復帰率の維持は回復期リハビリテーション病棟単独の努力では成し遂げることは困難であり、急性期治療から回復期リハビリテーション、在宅復帰後のサポートが非常に重要と考えています。当院では「おうちに帰ろう」を合言葉に、職員一丸となって努力しております。

地域の医療機関、介護施設の皆様のご協力なしには成し得ないことです。日頃の皆様のご支援に感謝申し上げますとともに、今後も密に連携を図りながら、共に地域の方々のお役に立てるよう頑張らせて頂きたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

新たな年が皆様にとって安心で充実したものとなりますよう、一之瀬脳神経外科病院一同、心よりお祈りしております。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。



一之瀬脳神経外科病院
院長 小林 辰也

終夜睡眠ポリグラフ検査機器を更新しました！

当院では、睡眠時無呼吸症候群（SAS）が疑われる症状の方が受診した際に簡易検査を行い、その結果で、より精査が必要な場合に1泊入院での終夜睡眠ポリグラフ検査（PSG）を行っております。

その際に、SASに伴う急激な血圧上昇が脳心血管疾患のリスク因子となる可能性があるため、血圧の変化をみていますが、従来の血圧測定は、カフを使用した測定器のため、体位やカフの圧力が睡眠の妨げとなり正確な連続血圧測定が困難でした。今回 PTT 血圧計を導入することで、指先に装着したパルスオキシメータと簡便な心電図計測を行い、心臓から拍動が伝わる時間に基づき血圧を推定し、カフ収縮による睡眠への影響なく呼吸イベント毎に生じる血圧変化を連続的に捉えることが可能となりました。



装着イメージ

大きないびきをかく、日中の強い眠気、夜間頻尿の症状や良好な睡眠が取れないといった症状の患者さんがいましたら、ぜひご紹介ください。

お待ちいただく期間が短く、ご予約をお取りすることが可能です！

実施日：月・火（AM）・水（AM）・木・第3土曜日（AM）

担当医：丹羽医師



新入職員紹介



2024年1月に入職しました佐藤と申します。脳神経外科の領域は初めてではありませんが、今までの経験を活かしつつ、地域の医療機関の先生・スタッフの方々、介護施設の皆様と密に連携を取り、患者様一人一人に寄り添える対応が出来るよう、また1日でも早く地域の皆様のお役に立てるよう努力いたします。ご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

MSW/社会福祉士

大島 聡子（主任）

山崎 夏美

大槻 恵未

丸山 瑛久

事務

清水 恵（主任）

長瀬 奈央

佐藤 一浩

一之瀬脳神経外科病院 医療連携課
（平日 8:30～17:30 土曜 8:30～12:30）



TEL 0263(48)3622 FAX 0263(48)2121

※時間外・休日の救急患者紹介は代表 TEL 0263 (48) 3300 へご連絡ください。